



学年段階ごとのタブレット端末の活用の仕方



小学校入学段階から中学校卒業までの9年間の中で、タブレット端末の基礎的な使い方や簡単なプログラミング、情報モラルについて理解を深め、活用できる教育を行っていきます。

タブレット端末を毎日持ち帰り、家庭でも「学習支援サービス」等を利用して学習できるよう計画していきます。

学年ごとにICTを使って身に付ける教育内容例

小学校1年生～4年生 身近なものとしてICTに親しむ

タブレット端末等の基礎的な使い方や簡単なプログラミングを通じて論理的思考を経験し、ICT機器に親しみながら自由に生活の中で活用することにより、ICTへの苦手意識をもたせないようにする。

例：キーボードで文字入力してみる。理科の花の写真の撮り、特徴を話し合う。等

小学校5年生～中学校1年生 情報モラルの必要性を踏まえた上で、授業等でICTを活用する

教員の指示に従い、日常での使い方や教育内容の補充としてICTを使う中で、個人情報の保護や発信した情報に対する責任等の情報モラルについても理解を深める。

例：英語の動画を視聴する。インターネットの検索サイトで調べ学習を行う。等

中学校2年生～3年生 これまでの活用に加え、能動的にICTを活用する

ICTを活用して、与えられた使い方だけでなく、これまでの知識を総合し、課題の発見や自ら『能動的に』ICTを活用できる力を養う。

例：自分の必要とする情報を取捨選択しながら進路を調べる。等



タブレット端末で学習する児童・生徒の様子

タブレット端末を使用した授業を受けた子どもたちからは、

操作が簡単で、問題が次々と解けて、効率よく学習を進めることができた

分からない問題などがあっても解説やヒントがあるので、分からないままにならないのがよかった

タブレット学習自体、とても新鮮味があり、面白かったので、もっと授業などで取り入れてほしい

などの声がありました。

これからの子どもたちの学びは変化していきます。タブレット端末を、いつ、どのように学習で使用するかを子どもたち自身が考え、決めて学びます。タブレット端末を持ち帰ることから、ご家庭におかれましては、お子さまと話し合っルールを決め、充電やインターネット環境への接続などご協力をお願いします。

◆教育指導課 042-420-2827

下野谷遺跡オリジナル商品の紹介

国史跡^{したのや}下野谷遺跡や、下野谷遺跡の公式キャラクター「したのやムラの『しーた』と『のーや』」をイメージした商品を、遺跡近くの東伏見駅、西武柳沢駅周辺にあるお店で販売しています。

竪穴式住居をイメージした“マドレーヌ”、クルミや全粒粉、きび砂糖など素朴な素材で縄文時代を表現した“したのやクッキー”、“しーた”と“のーや”の型押しがされた革製の“コインケース”、縄文時代のように現代の暮らしのなかでも国産ヒノキの良さがある“木のスマホスピーカー”、どれも逸品です。

下野谷遺跡を訪れる際には、少し足をのぼして、地元の逸品をぜひお楽しみください。販売店舗の詳細については、市ホームページをご覧ください。



▲したのや遺跡マドレーヌ



▲したのやクッキー



▲「しーた・のーや」コインケース



▲木のスマホスピーカー



▲下野谷遺跡の公式キャラクター「したのやムラの『しーた』と『のーや』」
©T&K/西東京市



▲店舗地図

◆店舗一覧 ※在庫状況は事前に各店舗にお問い合わせください。

商 品	店 名	電話番号
したのや遺跡マドレーヌ	Biscuitta (ビスケット)	042-452-1616
「しーた・のーや」コインケース	手創りかばん工房 クラクフ	042-461-0752
したのやクッキー	石窯パン工房ウーノ	042-452-6565
木のスマホスピーカー	Nishitokyo CRAFT BASE (西東京クラフトベース)	042-461-4943

◆社会教育課 042-420-2832